月	単元・学習内容		評価規準（到達目標）
	年　度　始　休　業		
	【数学Ⅰ】		
4	１数と式（式の計算）		
	11	多項式の加法と減法	□多項式の同類項をまとめたり，降べきの順に整理できる。 □多項式の加法，減法の計算ができる。 □単項式，多項式とその整理の仕方に関心をもち，考察し
	12	多項式の乗法	□展開の公式を利用できる。 □式を文字のおき換えを使い、計算を簡略化することがで
	13	因数分解	□因数分解の公式を利用できる。 □複雑な式についても，見通しをたてて因数分解をするこ □式を変形し，因数分解の公式が適用できるようにするこ □式の変形，整理などの工夫において，よりよい方法を考
5	14	＜単元テスト＞	５月８日（火）　７連休後の初 ここまで習った範囲の単元テストを 連休中しっかり復習してくだ
	15	実数	□有理数が整数、有限、循環小数のいずれかで表されるこ □今まで学習してきた数の体系について理解し、考察しよ □循環小数を表す記号を用いて、分数と循環小数の変換が □絶対値の意味と記号表示を理解している。 □数直線上の２点間の距離を絶対値を用いて考えることが
	16	１次不等式	□不等式の性質について、等式における性質と比較して、 □不等式における解の意味を理解し、１次不等式を解くこ □A<B<CをA<BかつB<Cとして捉え、不等式を解くことができ □連立不等式の意味を理解し、連立１次不等式を解くこと □絶対値の意味から、絶対値を含む方程式、不等式を解く □絶対値記号を含むやや複雑な式について絶対値記号をは □絶対値記号を含むやや複雑な方程式や不等式に取り組む
	課題学習	１．黄金比と黄金長方形	□長方形の辺の比を題材として、黄金比について考察する □身近にある無理数として黄金比を学び、無理数に関する
	２　２次関数		
	21	２次関数とグラフ	□y=f(x)やf(a)の表記を理解しており、用いることができ □２つの数量の関係を関数式で表現できる。 □グラフの平行移動を理解している。 □平方完成し、２次関数のグラフを書くことができる。 □放物線の平行移動を、頂点の移動に着目して、考察する
	22	２次関数の値の変化	□２次関数が最大値または最小値をもつことを理解してい □平方完成を活用して、最大値、最小値を求めることがで □具体的な事象の最大・最小の問題を、処理することがで □定義域に制限がある場合の、最大値、最小値を求めるこ □難解な二次関数のグラフの最大値や最小値について、考 □与えられた条件を関数の式に表現し、２次関数を決定す
6	前　期　中　間　考　査		
	23	２次方程式と２次不等式	□２次方程式の解き方として、因数分解、解の公式を理解 □２次方程式において、判別式の符号と実数解の個数の関 □２次関数のグラフとｘ軸の共有点の個数を求めることが □判別式の符号から共有点の個数やx軸との位置関係を考察 □２次不等式を解くことができる。 □２次の連立不等式を解くことができる。 □２次式が一定の符号をとるための条件を、グラフと関連

	課題学習	２．放物線の性質 ３．関数のグラフと不等式	□座標平面上にかかれた1つの放物線は，x 軸，y 軸の目盛 相似になることを確かめることができる。 □相似変換についての理解を深め，考察しようとする。 □関数のグラフを利用して，絶対値を含む不等式の解を求 □絶対値記号を含む関数のグラフと方程式，不等式の関係
6 7	3 集合、場合の数		※途中から数学Aの教科書を使います。教科担任の指示を聞き逃さ
	31	集合と命題	□空集合、共通部分、和集合、補集合について理解してい □ベン図などを用いて、集合を視覚的に表現して考察する □命題の真偽、反例の意味を理解し、命題の真偽を決定す □集合の包含関係と命題の真偽に関連していることに着目 □命題の逆・対偶・裏の定義と意味を理解しており、それ □命題に応じて対偶の利用や背理法の利用を適切に判断で
	32	集合の要素の個数	□和集合や補集合について理解し、その要素の個数を求め □和集合、補集合の要素の個数の公式を利用できる。
	33	順列	□樹形図を用いて、場合の数をもれなくかつ重複なく数え □自然数の正の約数の個数を数えたり列挙できることに興 □順列の総数、階乗を記号で表し、それを活用できる。 □順列、円順列、重複順列の公式を理解し、利用すること
	34	組合せ	□組合せの総数を記号で表し、それぞれを活用できる。 □順列と組合せの違いに興味・関心をもつ。 □同じものを含む順列を、組合せや順列で考察することが
		夏　季　休　業	
8 9		＜学力テスト＞	
	35	確率の基本性質	□試行の結果を事象として捉え、事象を集合と結びつけて □加法定理などを利用して、複雑な事象の確率を意欲的に
	36	独立な試行と確率	□独立な試行の確率を、公式を用いて求めることができる。 □反復試行の確率を、公式を用いて求めることができる。 □既習の確率の知識を利用して、反復試行の確率について
		前　期　期　末　考　査	
9	37	条件付き確率	□条件付き確率の式から確率の乗法定理の等式を導くこと □条件付き確率を利用して原因の確率が考えられる。
	38	期待値	□期待値の定義を理解し、期待値を求めることができる。 □どの選択が有利かを判断する基準として、期待値の考え □日常の事象における事柄についての判断を、期待値を用
	4	三角比	
	41	三角比の相互関係	□直角三角形において、正弦、余弦、正接が求められる。 □三角比の表からsinθ、cosθ、tanθの値を読み取ること □三角比の定義から、辺の長さを求める関係式を考察する □直線とx軸とのなす角を、三角比を用いて考察すること
		＜単元テスト＞	

10 11	42	三角形への応用	□正弦定理を用いて、三角形の辺の長さや外接円の半径が □余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさが求 □定理を用いて、三角形の残りの辺の長さや角の大きさを □三角比を用いた三角形の面積を求める公式を理解してい □３辺が与えられた三角形の面積を求めることができる。 □３辺が与えられた三角形の内接円の半径を求めることが □円に内接する四角形の面積を求める方法を考察すること □三角比を利用して、正四面体などの体積を求めることが
	課題学習	４．三角比の値と正弦定理 ５．立体とそれに内接する球	□正弦定理を用いて加法定理を導くことができる。 □正弦定理を活用して加法定理を見出そうとする。 □多面体とそれに内接する球について，体積の比と表面積 □多面体とそれに内接する球について，三角比を用いて考
		後　期　中　間　考　査	
12	5	データの分析	
	51	データの整理	□度数分布表、ヒストグラムについて理解している。 □データを整理して全体の傾向を考察しようとする。 □平均値や中央値、最頻値の定義や意味を理解し、それら □データの散らばりを比較することができる。 □データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを □外れ値の背景を探ることの利点を考察することができる。
	課題学習	６．偏差値	□偏差値の求め方やその数値の意味について，理解するこ
1 2		冬　季　休　業	
		＜学力テスト＞	
	7	図形の性質	
	71	三角形の辺の比	□定理を適切に利用して、線分の比や長さを求めることが □三角形の外心・内心・重心の性質を理解している。 □チェバの定理・メネラウスの定理を三角形の問題に活用 □三角形の存在条件や辺と角の大小関係について理解して
	72	円に内接する四角形	□円周角の定理と円周角の逆の定理を理解している。 □円に内接する四角形の性質を利用して、角度求めること
	73	円と直線	□円の接線と弦の作る角の性質を利用して、角度を求める □方べきの定理を利用して、線分の長さなどを求めること □共通接線の定義を理解し、その長さの求め方がわかる。 □２つの円の位置関係と中心間の距離と半径の関係を積極
		後　期　期　末　考　査	
3	8	一年間の復習	
	81	まとめ課題	□数学Ⅰの復習 □数学Ａの復習

	観点別評価			評価方法
	ア	イ	ウ	
, ようとする。 きる。 とができる。 とができる。 察しようとする。	○ ○ ○ ○ ○	○ ○	○	週末課題 単元テスト 振返りシート
日です！ を行います。 さい。	○	○	○	
とを理解している。 うとする。 できる。 できる。	○ ○ ○ ○	○		小テスト 週末課題 Study-Upノート
考察しようとする。 とができる。 る。 ができる。 ことができる。 ずす処理ができる。 意欲がある。	○ ○ ○	○ ○	○ ○	小テスト 週末課題
ことができる。 理解を深め、関心を高める。		○	○	
る。 ことができる。	○	○	○	小テスト 週末課題 前期中間考査
る。 きる。 きる。 とができる。 察することができる。 ることができる。	○ ○ ○ ○	○	○ ○	
	○	○	○	
している。 係を理解している。 できる。 することができる。 させて考察できる。	○ ○ ○ ○ ○	○ ○	○	学力テスト 週末課題

りの比を適当に変えることですべて		○		週末課題
めることができる。		○	○	
に関心をもち，考察しようとする。			○	
ないように！				小テスト 週末課題 Study-Upノート
る。	○			
ことができる。				
ることができる。	○	○		
しようとする。				
を活用できる。		○		
きる。	○			
ることができる。				
ることができる。	○			
味を示す。			○	
ができる。	○	○		
できる。	○	○	○	
	○	○	○	
考察することができる。 求めようとする。	○	○	○	前期期末考査 小テスト 週末課題 Study-Upノート
考察することができる。	○ ○	○		
	○	○	○	
ができる。	○ ○			
を用いて考察できる。	○	○		
いて考察しようとする。			○	
				小テスト 週末課題 学力テスト Study-Upノート
ができる。	○			
ことができる。	○	○		
ができる。		○		
	○	○	○	

求められる。	○			前期期末考査 小テスト 週末課題 Study-Upノート
められる。	○			
求めることができる。	○			
る。	○			
	○			
できる。	○			
ができる。		○		
できる。	○			
		○		
		○		
の比を考察できる。		○		
察を深めようとする。		○		
	○	○	○	
	○			単元テスト 小テスト 週末課題 Study-Upノート
		○		
を求めることができる。	○			
	○			
考察しようとする。		○		
			○	
とができる。		○	○	
	○	○	○	
できる。	○			小テスト 週末課題
	○			
できる。		○		
ハる。	○			
	○			
ができる。	○			
ことができる。	○			
ができる。	○			
	○			
的に考察しようとする。		○		
	○	○	○	
	○	○	○	
	○	○	○	

場合の数

＜集合の要素の個数＞ □和集合や補集合について	○ ○ ○		○